

339その他の溶接装置を起因物とする死傷災害100事例（-2017年）

No	年	月	発生 時	死傷災害事例	年 齢	事 故 の 型	小業種	労働 者規 模
1	2017	11	9～ 10	工場内で、加圧式スポット溶接機で作業中、右手中指を圧着点に置いたまま、自らフットスイッチを入れてしまい、指を挟んでしまった。	57	7	11209	10～ 29
2	2017	11	13～ 14	被災者は未経験労働者のため、派遣先の正規作業者と2名で作業方法を教わりながら、ロボット溶接機で自動車部品の溶接組立作業を行っていた。一連の溶接作業が終了し、完成部品を組立治具から取り外す作業を行おうとして右手を溶接治具に差し出した時、誤ってクランプスイッチに接触し、クランプONの状態になって、右手親指先端を強く挟み込まれて負傷した。（クランプ：きつくぎゅっとしめる。）	58	7	11502	10～ 29
3	2017	11	10～ 11	工場組立2課でSP機の電極交換後、欠品確認の為に、高さ検知の調整で下部電極にテストピースを乗せた。その上にナットを乗せる為に起動ボタンをちょい押しして、ナットを出したが、ピンを上昇させるエアバルブを開き忘れていた為、送給されたナットが落下した。テストピースを右手に持ち替え、左手でピンを触っていた時、急にガンが加圧し、左手人差し指先端が挟まれた。	27	7	11502	1000 ～ 9999
4	2017	10	3～4	被災者のスポット溶接工程（第6工程）において設備の電極交換時に電極を取り付け手動で圧を掛けた際、電極が外れ誤って、とっさに手を出してしまい挟まれ受傷した。	52	7	170101	1～9
				被災者のスポット溶接工程（第6工程）において設備の電極交				100

5	2017	10	3～4	換時に電極を取りつけ手動で圧を掛けた際、電極が外れ誤って、とっさに手を出してしまい挟まれ受傷した。	52	7	11502	～ 299
6	2017	10	10～ 11	工場内で抵抗溶接機の作業中に、溶接機に指先を挟み裂傷した。	64	7	11209	30～ 49
7	2017	10	9～ 10	工場内にてスポット溶接機操作中、加工部品のずれに気づき、フットスイッチを止め、上下電極間に人差し指を挿入し、加工部品のずれを直していた。右足をフットスイッチに乗せたまま作業していた為、思わず踏み込んでしまい、上下電極間に人差し指を挟み受傷した。	47	7	11502	10～ 29
8	2017	9	9～ 10	板金工場内、溶接場で製品に溶接ナットを溶着の際に、インバータスポット溶接機の溶接電極部で左手人差し指を挟んでしまい、開放骨折と診断された。	29	7	11301	50～ 99
9	2017	8	14～ 15	スチール事業本部第二工場にて、フットボタン式のスポット溶接機で、ナットを製品に溶着する加工作業中、製品を加工機にセットし、ナットを右手でセットしている最中に誤ってフットボタンを足で踏んでしまった。その際、右手を加工機から抜くのが間に合わず、機械に右手親指を挟んで負傷した。	28	7	170101	30～ 49
10	2017	8	9～ 10	本社工場より、工程移管のため、受傷者は仕入先製作所のVラインにて、定置スポット溶接機のトライを行っていた。マグネット付上部電極にパイプをセットしようと、右手親指と人差し指でパイプを保持していたとき、体がよろけて足元にあったフットスイッチ（カバー付）を踏んでしまい、上部電極とパイプと一緒に下降し、下部電極の間に右手中指先端を挟み受傷した。	45	7	170101	50～ 99
				本社工場より、工程移管のため、受傷者は仕入先のVラインにて、定置スポット溶接機のトライを行っていた。マグネット付上部電極にパイプをセットしようと、右手親指と人差し				1000

11	2017	8	9～ 10	指でパイプを保持していたとき、体がよろけて足元にあったフットスイッチ（カバー付）を踏んでしまい、上部電極とパイプが一緒に下降し、下部電極の間に右手中指先端を挟み受傷した。	45	7	11502	～ 9999
12	2017	6	13～ 14	当社事業所工場内において、スポット溶接機にて金属部品にねじを溶接する作業をしていた。左手でワークを持ち、右手でねじをワークにセットしたまま、そのワークをスポット溶接機の電極（先端部）にセットする。ここで本来は右手を手元に引いた後に足で起動ペダルを踏むものだが、無意識のうちに右手親指でねじを押さえたままペダルを踏んでしまい、ワークと共に右手親指が電極の間に挟まってしまい被災した。当時の電極の加圧力は、推定で約300kgfであった。	48	7	11209	30～ 49
13	2017	6	11～ 12	工場内プロジェクション溶接作業において、左手で部品を持ち、その部品の孔にボルトを右手で差し込み加工を行うが、セットしたボルトから手を離す前に起動（フットスイッチ）してしまい、右手親指を挟んだ。	34	7	170101	30～ 49
14	2017	4	9～ 10	T32車部品（C647S768）を加工中に部品セットを間違えたので、やり直すため治具を取り出そうとして、指がスポット電極間を通過する際に誤って足踏みスイッチを踏んでしまい、スポット電極で人差し指を挟んだ。	24	7	11502	100 ～ 299
15	2017	4	14～ 15	部品置台の下に、空箱と使用しないフットスイッチ等が収納してあった。その状態で手動式スポット機の電極を紙ヤスリで研磨していた時、空箱を足で押したため空箱の角がフットスイッチに当たり、通電状態で電極が下降した。その時上下電極との間に右手人差し指を挟み、爪を破損した。（現在フットスイッチは撤去、現在は手動で起動している）	48	7	11203	10～ 29
			15～	当工場内で溶接作業中、休憩するときにヘルメットをぬぎ、				10～

16	2017	4	16	スペースアームを所定の位置に引っぱった所、自分の上に来た時にアームが落下し、肩と頭にアームが当たった。	67	4	11209	29
17	2017	4	17~18	工場にて、定置スポット溶接作業時に左手で製品を持ち、右手でボルトを所定の位置にセットし、右手で設備スイッチを押した際に、無意識に左手親指をセットしたボルト上部に置いてしまい、製品と設備に左手親指を挟まれた。	22	7	170101	50~99
18	2017	4	17~18	工場にて、定置スポット溶接作業時に左手で製品を持ち右手でボルトを所定の位置にセットし、右手で設備スイッチを押した際に無意識に左手親指をセットしたボルト上部に置いてしまい、製品と設備に左手親指（第1指）を挟まれた。	22	7	11502	50~99
19	2017	4	11~12	古くなって使用しなくなった電気溶接機（100kg程度）をスクラップ業者のトラック荷台に積むとき、チェンブロックで吊り上げた溶接機とトラック荷台の高さが合わず、手で積み込んだときに溶接機が滑り、右手中指をはさみ負傷した。	67	7	11709	1~9
20	2017	4	11~12	当社工場内に於いて、治具の枝に部品をスポット溶接する為に枝と枝の間隔を測定中、体のバランスを崩してフットペダルを踏んでしまい、スポット溶接のピットが作動し、治具の枝に添えていた右手示指先端が治具の枝と部品の間に挟まれ挫創負傷した。	56	7	11209	30~49
21	2017	4	8~9	資材置場において中学校の改修工事へ行くための資材の積み込みを行っていた。バッテリー溶接機（40kg）を車に積み込むために中腰の状態から持ち上げようとしたところ、腰を捻ってしまった。	27	19	30201	1~9
22	2017	3	15~16	チェッカープレートにメッキ液をスムーズに通すため、プラズマで穴を開けていたところ、高熱の鉄粉が左耳に入り、鼓膜に穴があいた。	61	11	11209	1~9
				本社工場内で使用しているスポット溶接機にスパッタがついた為、専用の道具（ドレッサー）を使わずに左の親指で取る				100

23	2017	3	9~10	うとして、機械を止めずにスポット溶接機に指を入れたとき、右手がスイッチ付近にあったためスイッチに触れ、機械が作動して指を挟まれた。	44	7	11209	~ 299
24	2017	2	11~12	工場内で溶接作業をしている時、半自動溶接機で自分が持っていたノズル（ワイヤー）でノズルを引っ張って寄せようとした時、膝の内側に刺してしまい負傷した。	46	8	11301	1~9
25	2017	2	8~9	本社中央工場内においてプロジェクションスポット溶接機にて住宅用部材を溶接していた時、溶接済みの部材が固定されてしまいはずれないので左手で取り出そうとしていた時はずみで右足で溶接機のフットスイッチを踏んでしまい左手の親指が挟まれ負傷した。	20	7	11209	30~ 49
26	2017	2	9~10	スポット加工エリアで金具スポット溶接加工をしていて、同じ作業台で2種類の作業を実施した。（金具スポット溶接、扉バフ掛けをローラー付き作業台。）バフ掛けの扉を移動する際ローラーが回転し、部材と溶接作業員の手が一緒に移動し、打点位置に来てしまった。その為、右手親指爪部を創傷してしまった。	44	7	170101	50~ 99
27	2017	2	9~10	スポット加工エリアで金具スポット溶接加工をしていて同じ作業台で2種類の作業を実施した。バフ掛けの扉を移動する際ローラーが回転し打点位置に来てしまった。その為、右手親指爪部を創傷してしまった。	44	7	11401	500 ~ 999
28	2017	2	16~17	弊社工場内作業場で、手持ち（ハンドガン）タイプの溶接機の先端の溶接チップを交換している時、本来であれば、先端チップを交換後、ハンマーで叩いて固定させた後、起動をし、加圧をかけて交換作業の完了となるところを、先端チップを指で挟んで持ち、ハンマーで叩かないで、加圧の起動をしてしまった為に指を先端チップで挟んでしまい、怪我をした。	20	7	11502	10~ 29

29	2017	1	15～ 16	部品にナット付を行う作業中、ナットを品物の上に置き、手を離さずにペダルを踏んでしまい、指を挟み込んだ。	47	7	11502	10～ 29
30	2016	12	16～ 17	スポット溶接作業で、ワークとボルトを電極チップにセットし、フットペダルに足をのせてスポット溶接をしようとした時に、ワークとボルトのずれを直すためにフットペダルに足をのせたまま電極チップの間に左手を入れたため、誤ってフットペダルを踏み、電極チップで左手母指を挟んだ。	52	7	11301	50～ 99
31	2016	12	15～ 16	工場内でスポットの溶接作業をしていたところ、スポット機のチップが材料を押さえていた左拇指の爪に当たり、負傷した。	18	7	10502	100 ～ 299
32	2016	11	13～ 14	スポット溶接機にて溶接作業を行っていた。スポット溶接機のチップ研磨をする為、チップ間を広げるフットスイッチを踏み、チップドレッサーで研磨をしている最中に、誤ってチップ缶を挟めるフットスイッチを踏んでしまい、チップ間に左手を挟んでしまった。	35	7	11301	50～ 99
33	2016	10	11～ 12	スポット溶接にて教育指導中のスポット溶接の初心者である被災者が、下電極の上に右手で製品Aをセット、次に左手で溶接する部品Bをセットし、フットスイッチを起動させるところを、部品を置く前に右手親指を電極にのせたままフットスイッチを踏んでしまい、上電極と下電極に挟まれた。	23	7	11502	50～ 99
34	2016	9	17～ 18	鎖の生産工場で溶接機の部品交換時に、電源を切らないで作業をしていた為に誤ってスイッチに触れて機械が動いた時に左人差し指を挟んだ	48	7	11209	10～ 29
35	2016	9	13～ 14	スポット溶接を使用して作業中、溶接部分のキャップがずれた為、直そうと手を出した時に誤ってボタンを押してしまい、溶接部に左手薬指が挟まれ負傷。	41	7	170101	300 ～ 499
36	2016	8	15～	工場内において、スポット溶接機で作業中に、溶接機のチッ	37	7	11209	10～

			16	プに右手人差し指の第一関節を挟んで負傷した。				29
37	2016	8	11～ 12	工場内に於いて、スポット溶接機で引戸用の治具の2カ所の穴にビスを入れる際、治具のビスの上に右手がある内に体の移動でフットスイッチを右足で踏んでしまった為、右手示指先端を挟まれ負傷した。	39	7	11209	1～9
38	2016	7	11～ 12	スポット溶接機を止めてナットの取り付け作業を行っていたところ、フットスイッチを踏んでしまい、止まっていた機械が作動して右手親指をはさみ、負傷した。	49	7	11203	30～ 49
39	2016	7	20～ 21	溶接現場のスポット溶接機で、異常停止を知らせるブザーが鳴ったため対応に入った。確認したところ供給されたナットが上部の電極にもくっついていて高さ不足を検知し異常停止していた。このナットを左手で取り除こうとした際に、無意識に右手で高さ検知器の停止解除ボタンを押したため、下がってきた上部電極に左手中指が挟まれ、第一関節より上を挫創・骨折した。	52	7	11502	100 ～ 299
40	2016	7	9～ 10	部品を溶接機械で試験溶接したが、うまく溶接されず、電極確認をしている際に誤って機械が作動してしまい、右示指を負傷した。	63	7	11409	1～9
41	2016	7	13～ 14	工場において製品にブッシュをスポット溶接する作業中、通常手押しスイッチで作業を行うところを、少しでも作業が早くなると思い、足踏みスイッチに切り替えた。ブッシュを製品にセットする際、誤って足がスイッチにふれ怪我を負った。	55	7	11203	30～ 49
42	2016	7	10～ 11	工場内において、FF暖房機用板金部材にナットをスポット溶接しようとした際、ナットが動いてしまい、被災者の不注意により、ナットに指が掛かった状態で、スポット溶接機を作動させ、右手親指をスポット溶接機のトーチに挟み込み負傷した。	35	7	11301	30～ 49

43	2016	7	10～ 11	FF暖房機用板金部材にナットをスポット溶接しようとした際、ナットが動いてしまい、被災者の不注意により、ナットに指が掛かった状態で、スポット溶接機を作動させ、右手親指をスポット溶接機のトーチに挟み込み負傷した。	35	7	170101	500 ～ 999
44	2016	7	15～ 16	工場内で、自動溶着機を可動させて補強材の振れを修正する作業中、本来であれば自動溶着機の動きを停止させて補強材の振れを修正すべきところ、自動溶着機を停止させずに修正作業を行った。その際、自動溶着機の駆動ライン上に左足が乗っていて、可動して来た自動溶着機と作業台の支柱との間に左足が挟まれ、親指を骨折した。	22	7	10209	50～ 99
45	2016	6	14～ 15	工場内で金網と鉄板枠をスポット溶接している時、あやまって手をすべらせて、スポット溶接機に指をはさんだ。	42	7	11209	30～ 49
46	2016	6	16～ 17	工場構内スパンにて、ブーム仕上溶接前右側フット部のガウジング作業を行おうとした。ガウジング棒が短かった為、ガウジングホルダーを右手から左手に持ち替え長さの調整を行った。グリップを握り右手で押し伸ばそうとした時、押す前にエアの力でガウジング棒が左手肘内側に載ってしまった。ガウジング棒が高温の為、保護具を抜け皮膚まで到達し熱さを感じ保護具を外そうとした時、右手で肘内側に押しこんでしまい、負傷した。	29	8	11301	1000 ～ 9999
47	2016	4	9～ 10	高所での溶接作業のため、下部で作業の安全、溶接花火等の安全確認を行っていた。溶接花火が落ちてくる直下に溶接機用分電盤があったため溶接機本体の上に載り、カバーを掛ける作業を行った後に降りようとして足元が滑り左肩から地面に落下した。	49	1	11301	10～ 29
48	2016	3	14～ 15	工場内において、架台を溶接中防護用エプロンに火がつき、作業服にも延焼した。それを取り払う時に、煙及び火気を吸引し気道を熱傷した。	79	11	30209	1～9

49	2016	3	13～ 14	スポット溶接機（ナットを溶接する機械）で溶接作業中、左手を台に置いたまま作動させてしまい、左手人差し指を挟み骨折した。	63	7	11502	1～9
50	2016	3	13～ 14	工場内でスポット溶接機を使用して6mmのボルトと鉄板を圧着する加工中に誤って、ボルト押し入れ時に親指先端をつぶしてしまった。	66	7	11502	1～9
51	2016	2	14～ 15	4点マルチスポット溶接機にて金網製作時、横線落下不良が発生し、横線をセットしなおす際に、誤って左手をスポット部に入れてしまい、左手中指を負傷した。	61	8	11209	10～ 29
52	2016	2	9～ 10	工場内でスポット溶接機の清掃中、スイッチを切り忘れて清掃を行っていた為、誤って右足でペダルを踏んでしまった際右手人差し指と中指を切傷した。	44	7	11209	1～9
53	2016	1	10～ 11	工場内にて、スポット溶接機の高さ検知器の設定作業中、空打ちしたナットを右手で取り除こうとした際、体が前のめりになり、誤ってフットペダルを踏んだためスポット機が稼動し、溶接先端と製品の間に右手示指を挟み、負傷した。	53	7	11502	100 ～ 299
54	2016	1	11～ 12	工場において、定置形スポット溶接機を使い、作業をしていた。午前中の作業が終わった為片付けをしていて、溶接部分の掃除をした時足元のスイッチを踏んでしまい、右手を挟み負傷した。	20	7	11209	10～ 29
55	2015	12	8～9	工場内溶接組立職場において、150KVAスポット溶接機の始業時に電極チップの交換中、左手にはめた軍手で下側電極チップのゴミを拭く不安全行為をしながら、誤って右手で押しボタンスイッチを押してしまい、慌ててスイッチを放したが間に合わず、左手親指の中手骨を挟まれ骨折した。	50	7	11502	30～ 49
				ボイラ炉内でスクリーン管の溶接作業を行う為、溶接機を外 の入口付近に準備し、バーナー穴の外から身を乗り出してス				

56	2015	11	8～9	クリーン管上部にスパッタ防止材を塗布したその後、スクリーン管下部にもスパッタ防止剤を塗布する為にバーナー穴から炉内に入った。スクリーン管下部へ移動しようとして約1.6Mのパネルの上から下ろうとした時、足を滑らせ咄嗟に右足を着いたところ、パイプ間の溝に捻った状態で右足をついてしまい受傷した。	37	2	11209	100 ～ 299
57	2015	11	14～15	溶接機を使ってバイクリフトのシリンダー溶接作業をしていて、溶接機にシリンダー（鉄材料）とベッド（鉄材料）をセットして、機械のクランプボタンを押した後、ベッドがずれているのに気づき、誤って機械の中に左手を入れてしまい、シリンダーとベッドの間に左手が挟まれた。	26	7	11301	100 ～ 299
58	2015	10	11～12	工場内にて別の作業員が溶接している横の足元にあった溶接済み鉄筋材を、被災者が移動させようとかがんだ際、溶けた鉄筋が飛散し被災者が着けていた手袋の中に入った為、右手首および右手薬指を負傷する。	40	4	30209	1～9
59	2015	10	10～11	工場内においてナット付け作業中、スポット溶接機に右手人差し指を挟まれ負傷した。	48	7	11402	10～ 29
60	2015	10	9～10	工場内でトラックのシャーシーフレームにプロジェクションナットの溶接機械での長付け作業中、ナットが取付け部分に上手くはまらなかった為、右手で作動ボタンを押したまま左手でナット位置を調節した際に、機械が作動してしまい、左手人差し指を挫傷してしまった。	33	7	170101	100 ～ 299
61	2015	9	17～18	定置式スポットガンでBKTヒューズボックスにウエルドボルトの溶接作業を行っていた。左手で部品を押え、右手でスイッチを押した。その時スイッチの押しが甘く、一度下がったシリンダーが上昇してしまった。支えていたワークがずれそうになり瞬時にワークを押さえた時、左手親指がスポットガンチップの間に入り込み、再び下降して来たチップで受傷	22	7	170101	500 ～ 999

				した。				
62	2015	9	14～ 15	工場内において、ダクトの製作作業中、FGダクト内タテ補強アングルをスポット溶接機で留めるため、被災者がアングルを手で押さえ、他の者がスポットを操作していたが、スポット操作者がスポットを移動していた際に、誤ってスイッチを押してしまった為、スポット溶接機の上部アームとFGアングルとの間に右手人差し指を挟まれ負傷した。	40	7	11209	1～9
63	2015	9	15～ 16	足踏式スポット溶接機による金網の溶接作業中、横棒の位置がはずれた為、右指で押え様とした際に、誤ってペダルを踏んだ為、機械が作動し、右指の裂傷、骨折を負った。	61	7	11209	10～ 29
64	2015	9	17～ 18	工場内でスポット溶接作業として、ガイドピンにナットをセットする作業をしていた。ピンが下降した状態で次のカラーをピンにセットしようとした時に、タイミングが早かった為、上昇してきたピンにカラーが乗り上げてしまい、カラーと上部電極の間に右手親指を挟んでしまった。	22	7	11502	100 ～ 299
65	2015	8	14～ 15	杓の柄付けの為スポット溶接機を操作中、フード付スイッチの足踏と手を持っていくタイミングが合わず軸が降り左手親指をはさんだ。	66	7	11203	10～ 29
66	2015	7	12～ 13	溶接工場で定置スポット溶接機のチップ交換作業の際、電源を切り、冷却水の元栓を閉め交換作業をすべきところ、電源を切り忘れてしまい、水の元栓を開放したままチップの交換作業を開始した。その時チップが外れ、水が噴き出したため、思わず左手で押さえ止めようとしたときに、何らかのはずみでフィットスイッチを踏んでしまい、溶接機が上下に作動して、左手親指の先端をはさみ負傷した。	37	7	11502	50～ 99
67	2015	7	16～ 17	スポット溶接作業中、左親指を受傷した。	44	7	11502	1～9
				スポット溶接機のキャップチップ（電極の先端）交換をする				

68	2015	6	13～ 14	際、電源を切らずに行なった。左手で工具を持ち、右手中指でキャップチップを支えながら工具を使用して外した時に体のバランスを崩し誤って足踏みペダルを踏んでしまった。通電し上下キャップチップが動き、右手中指を挟み負傷した。	50	7	11502	50～ 99
69	2015	6	8～9	スポット機の横から右手の人差し指で、悪い所を指差し、誤って自分の腕で、手押しスイッチを押してしまい、指を挟んでしまった。	68	7	11502	1～9
70	2015	6	9～ 10	抵抗溶接機で、製品のセットミスを手で補正しようとして、右手親指をはさんでしまった。	18	7	11502	30～ 49
71	2015	5	14～ 15	スポット溶接機で鉄板にM8のボルトをスポット溶接する作業でボルトを挿し込んだ時に誤ってフットスイッチを踏み込み、上限の電極の間に右親指の先端が挟みこまれた。	75	7	11301	10～ 29
72	2015	5	9～ 10	スポット溶接作業中誤って治具クランプと部品の上に左手人差し指を挟んでしまい負傷した。	39	7	170101	10～ 29
73	2015	4	15～ 16	スポット溶接機において、自動車部品のナット溶接作業を行っていたところ、ナット溶接の定置スポットの加動部に指を誤って入れてしまい、左親指を挟んでしまい負傷した。	44	7	11502	30～ 49
74	2015	3	10～ 11	工場内において自動車部品の製造作業中、スポット溶接機を使用して溶接作業をしていたところ、製品が小さく左手で支える必要があったため、レーザー安全装置を解除し製品を左手で支えて溶接をしようとしたところ、左手親指をスポットと製品の内に挟み負傷した。	22	7	11502	50～ 99
75	2015	3	15～ 16	スポット溶接機のチップ交換作業中、機械の電源が入った状態でチップを交換し、チップの位置を合わせていたところ、足元のフットスイッチが邪魔になった為、右足でフットスイッチを移動させようとした際、誤ってスイッチを踏んでしまい、機械が作動し、上下のチップに右手中指を挟まれて負	40	7	11502	50～ 99

				傷した。				
76	2015	3	9～ 10	工場内において、作業の段取りをしている最中スポット溶接機の電極を交換（チップ交換）する際、通常は水の流れを止めて作業をしなければならないが水の流れ（スイッチ）を止めずに作業し、その為チップがはずれ水の流れを手で止めようとした時、誤って足で起動ボタンを踏んでしまい、左手を負傷した。	60	7	11402	50～ 99
77	2015	3	8～9	スポット溶接機を用いて2つの部品をスポット溶接する作業を行っていた。部品をセットしたがセット具合が気になり右手人差指で押さえ修正した。手順は固定スイッチを踏まなければならないが誤って加工スイッチを押してしまい、右手人差指先端を部品とスポット溶接機ラムに挟まれ負傷した。	39	7	11301	30～ 49
78	2015	2	8～9	ナット溶接作業の準備で、ネジケンメジャー（ナット検査器）の設定中、ナットが上電極カバーの中にはまり込み、右手ではまったナットを取ろうと、指をチップの間に入れた時、足踏みペダルを踏んだ為スイッチが入り挟まれた。	50	7	11502	50～ 99
79	2015	2	13～ 14	自動車部品製造工場内で、ロボット溶接機を使用して作業中に、溶接機に製品が確実にセットできていなかったため、左手で製品を再セットし、左手で製品を押さえたまま、右手で作動スイッチを押してしまい、下りてきたクランプと製品の間で左手第二指先端を挟まれ負傷してしまった	46	7	170101	50～ 99
80	2014	12	15～ 16	アルミ製品の溶接作業中、溶けたアルミが流れ落ち、左足内側に付着して火傷を負った。	42	11	11102	1～9
81	2014	12	17～ 18	小物スポット工程において、定置スポット溶接機の電極交換後、下部電極の上にゴミが付着しており除去しようとし、作動部に指を入れた時に、誤って電磁弁を押し左手人差し指を挟み負傷する。	36	7	170101	100 ～ 299
				当社工場において、スポット溶接機（足踏スイッチを踏むと				

82	2014	11	16~ 17	<p>ヘッド部が下降し、上下のチップで材料を挟みこむようにして溶接する) を使用し、線材溶接 (ステンレス製、ザルの枠になる、直径2mm×長さ30cmの材料を型の溝に入れて交差するように重ね合わせた中心を溶接する) を行っていたところ、型からずれた線材を直そうとして線材の交差点に右示指を持っていった時に、うっかり足踏スイッチを踏んでしまい、下降したチップと材料の間に右示指を挟まれ負傷した。再発防止策として、線材をセットする型に取り出し口の穴を増やし、中心に手を入れることなく線材をセットしたり、取り出したりできるように改善する。</p>	54	7	11209	10~ 29
83	2014	11	6~7	<p>二人作業でスポット溶接をしていたところパートナーの作業を確認するため目を離した際、自分の手をスポット溶接部に置いたまま気付かず作動ペダルを踏んでしまい、ワークと機械に手を挟んで負傷した。</p>	44	7	170101	30~ 49
84	2014	10	13~ 14	<p>工場内で自動車部品製造作業中、鉄板 (20×20cm、厚さ4mm) にネジ式ボルトをスポット溶接作業中、鉄板にバリがあったためスポットテップが降下する際、バリに軍手が引っかかり製品とスポットテップで右手親指を挟んでしまった。</p>	73	7	11209	1~9
85	2014	10	9~ 10	<p>工場内でスポット溶接機を用いて車両用空調設備の金属製部分にナットを溶接する作業を行っていた。加工した部品を点検後、溶接機に隣接した作業台に置くという作業を始業時刻から繰り返し行っていたところ、47個目の部品を作業台に置く際に、無意識に溶接機のアーム部に左手をかけた状態で誤ってフットスイッチを踏んでしまい、作動したアームに左手親指を挟み負傷した。被災時は軍手は着用しており通電はしていない。被災者は3月に入社し8月よりこの業務についてOJTで技術を習得している最中だった。</p>	20	7	11203	10~ 29

86	2014	9	14～ 15	金型工場のスポット溶接場でボルト溶接の試し打ちを行っていた際に、上と下の溶接用電極の間に右手親指を入れて隙間を測っていたところ、誤ってフットスイッチを踏み込んでしまい右手親指を挟まれ負傷した。	42	7	11502	30～ 49
87	2014	9	10～ 11	スポット溶接工場で、電極交換作業中に、上部電極を右手で押え、左手で起動スイッチを押した為、右手人差し指を電極で挟んだ。	35	7	11203	30～ 49
88	2014	9	14～ 15	スポット溶接機の下チップをやすりで研磨していた時、フットスイッチを踏んでしまい、スポット溶接機先端が左手人差し指と親指の間の水かき部分を貫通した。	31	7	170101	100 ～ 299
89	2014	9	13～ 14	溶接試験場において、溶接装置（アクリル板でレーザー溶接機を囲った装置）のノズル取外し作業をしていた作業員（被災者）が、溶接装置のアクリル板の開口部に上半身がもたれかかった状態で意識を失っているのを近くにいた作業員が発見した。救急車を要請し病院へ搬送した。状況を確認したところ、装置内の換気が悪く、酸素濃度が低いことが判明した。	55	12	11401	1～9
90	2014	8	15～ 16	工場内にてボルト溶接作業中、下部電極からボルトを引き抜くときにフットスイッチを踏んでしまい上部電極が下がった時、上部電極と製品の間指が挟まれ負傷した。	36	7	11209	30～ 49
91	2014	7	18～ 19	クレーンポストの内部補強材を、ポータブル自動ガス切断機を使って作業を行っていた。ガス切断が終わろうとしたので、ガス切断機がレールから落ちないようにレールを支えて立っていたところ、切断片が補強材から切り離されて落下し、左大腿部に当たり負傷した。	20	4	11501	30～ 49
92	2014	7	17～ 18	工場内に於いて、定置スポット溶接機の下部電極交換する際に、誤って足踏みペダルスイッチを踏んでしまい、上下電極ホルダの間に右手人差し指を挟み負傷した。	24	7	11203	100 ～ 299

93	2014	7	14～ 15	工場内においてスポット溶接作業中、不注意により手を機械に入れたまま作動させてしまい、上下の電極に右手中指を挟まれ、骨折した。	55	7	11209	10～ 29
94	2014	7	16～ 17	工場にてスポット溶接機の清掃・研磨作業中、通常作業時はスライド盤が閉まっているため手は入らないが、清掃時はスライド盤をオープンにして電源を切るはずが、1ヶ所切らないまま足のスイッチを押してしまい、左手人差し指を骨折した。	42	7	170101	100 ～ 299
95	2014	6	13～ 14	組立職場にて、右手親指の先を挟まれ、骨折した。	29	7	11502	10～ 29
96	2014	6	15～ 16	工場内に於いて、スポット溶接作業中、誤ってスポット溶接機の電極部とチップ部の間に左手人差し指を挟んでしまい負傷した。	53	7	170101	10～ 29
97	2014	5	8～9	スポット溶接機を使用して作業中、異常が発生し、通常とは異なる箇所を指で持ち上げようとした際、ペダルを踏んでしまい電極に挟まれ、負傷した。	43	7	11209	30～ 49
98	2014	5	14～ 15	スポット溶接作業の段取り調整作業中、溶接電極の上に左手をのせたまま、電極交換完了確認のため、起動ボタンを押してしまったため、電極に左手が挟まり、手のひらを貫通した。	21	7	11203	30～ 49
99	2014	3	11～ 12	解体作業場において、油圧配管が通った鉄スクラップをガス切断機で切断を始めた時、配管の上部を向いているL字部分から配管の中に残っていたと思われる、熱された油が噴出し、防護されていない両耳に火傷を負った。	43	11	11009	10～ 29
100	2014	3	9～ 10	工場内においてスポット溶接機でボルトを雪止に入れて溶接する際に手袋が引っかかり取ろうとしたとき、誤ってフットスイッチを踏んだため指を挟まれて負傷した。	42	7	11203	1～9

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.html(職場のあんぜんサイト)

参考：[労働災害の分類の概要](#)

[各起因物における死傷災害100事例（-2017年）](#)に戻る。